

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.takachiho-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 渡辺 三千也

TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,031	1.1	27	8.3	9	29.2	△8	—
20年3月期第1四半期	2,997	1.6	25	—	7	—	△9	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△1.43	—
20年3月期第1四半期	△1.45	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	9,039	2,489	2,489	2,489	27.5	397.56
20年3月期	8,793	2,521	2,521	2,521	28.7	402.71

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,489百万円 20年3月期 2,521百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	6,800	1.2	270	22.6	200	△2.0	70	△51.3	11.18
通期	12,750	0.2	300	55.0	200	47.4	70	62.3	11.18

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 7,275,000株 20年3月期 7,275,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,013,726株 20年3月期 1,013,726株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 6,261,274株 20年3月期第1四半期 6,263,405株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断した一定の情報に基づいたものであり、実際の業績とは異なることがあります。

詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、サブプライム・ローン問題による金融不安や、原油価格・原材料価格の高騰により、先行に不透明感が増大してまいりました。

レジャー市場におきましては、原材料の継続的値上りやガソリン価格の上昇による消費節約志向の広がりの中、東北地方の震災による影響もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当第1四半期会計期間は概ね予定通りの成績で推移しました。みやげ品部門におきましては、消費者の皆様の要望に応えるため高品質で価値のある商品の提供・店づくりに邁進し、業容の拡大に努めてまいりました。温浴施設部門におきましては、安全・安心なサービスを提供するために徹底した品質・衛生管理の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期会計期間の売上高は3,031百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は27百万円（同8.3%増）、経常利益は9百万円（同29.2%増）、当期純損失は8百万円（前年同期純損失は9百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 貸借対照表

流動資産は前事業年度末に比べて287百万円増加し、3,077百万円となりました。増加の主な要因は商品が213百万円増加、現金及び預金が98百万円増加したことによります。

流動負債は前事業年度末に比べて729百万円増加し、4,504百万円となりました。増加の主な要因は短期借入金が370百万円増加、1年以内返済予定長期借入金が296百万円増加したことによります。

固定負債は前事業年度末に比べて451百万円減少し、2,045百万円となりました。減少の主な要因は社債が50百万円減少、長期借入金が366百万円減少したことによります。

純資産は前事業年度末に比べて32百万円減少し、2,489百万円となりました。減少の主な要因は配当金の支払による減少によります。

(2) キャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は41百万円となりました。これは主に棚卸資産207百万円及び仕入債務94百万円の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は47百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は188百万円となりました。これは借入れの収入によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の業績は、概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での業績予想につきましては平成20年5月15日発表の業績予想に修正を要する事象は生じておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出は、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る会計処理によっておりますが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平

成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正）が平成20年4月1日以後開始する事業年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はございません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る要約貸借 対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	793,265	694,326
受取手形及び売掛金	1,066,145	1,070,653
商品	1,020,420	806,743
製品	15,046	20,556
原材料	84,085	84,494
その他	98,453	113,328
流動資産合計	3,077,417	2,790,101
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,955,870	2,998,128
土地	1,113,652	1,113,652
その他（純額）	342,687	334,550
有形固定資産合計	4,412,210	4,446,332
無形固定資産	119,249	120,407
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,110,778	1,115,842
その他	319,869	321,048
投資その他の資産合計	1,430,647	1,436,890
固定資産合計	5,962,107	6,003,630
資産合計	9,039,525	8,793,732
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	745,534	651,241
短期借入金	3,201,960	2,535,764
未払法人税等	11,000	55,657
賞与引当金	84,120	50,640
返品調整引当金	5,890	10,988
ポイント引当金	11,738	10,163
その他	444,466	461,232
流動負債合計	4,504,710	3,775,687
固定負債		
社債	390,000	440,000
長期借入金	1,190,344	1,557,581
役員退職慰労引当金	47,554	62,166
その他	417,678	436,841
固定負債合計	2,045,577	2,496,589
負債合計	6,550,287	6,272,276

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る要約貸借 対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	720,835
利益剰余金	964,238	998,242
自己株式	△199,460	△199,460
株主資本合計	2,485,612	2,519,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,624	1,839
評価・換算差額等合計	3,624	1,839
純資産合計	2,489,237	2,521,456
負債純資産合計	9,039,525	8,793,732

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	3,031,680
売上原価	2,321,600
売上総利益	710,079
販売費及び一般管理費	682,972
営業利益	27,107
営業外収益	
受取利息	1,996
受取配当金	216
その他	7,880
営業外収益合計	10,093
営業外費用	
支払利息	25,134
その他	2,349
営業外費用合計	27,483
経常利益	9,718
特別利益	
貸倒引当金戻入額	2,849
特別利益合計	2,849
特別損失	
固定資産除却損	109
特別損失合計	109
税引前四半期純利益	12,458
法人税、住民税及び事業税	8,144
法人税等調整額	13,272
法人税等合計	21,417
四半期純損失(△)	△8,958

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	12,458
減価償却費	65,524
有形固定資産除却損	109
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,849
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,479
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△5,098
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,575
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14,612
受取利息及び受取配当金	△2,213
支払利息	26,431
売上債権の増減額 (△は増加)	4,507
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△207,692
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	4,120
仕入債務の増減額 (△は減少)	94,293
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,267
前受金の増減額 (△は減少)	△24
その他の資産の増減額 (△は増加)	11,804
その他の負債の増減額 (△は減少)	8,776
小計	32,857
利息及び配当金の受取額	2,118
利息の支払額	△27,277
法人税等の支払額	△49,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	△41,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△50,500
定期預金の払戻による収入	52,000
有形固定資産の取得による支出	△47,790
投資有価証券の取得による支出	△500
差入保証金の差入による支出	△11,647
その他	11,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	370,000
割賦債務の返済による支出	△33,615
長期借入れによる収入	30,000
長期借入金の返済による支出	△101,040
社債の償還による支出	△60,000
配当金の支払額	△16,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	188,812
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	100,439
現金及び現金同等物の期首残高	441,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	542,292

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	2,997,688
II 売上原価	2,277,529
売上総利益	720,159
III 販売費及び一般管理費	695,119
営業利益	25,039
IV 営業外収益	9,146
V 営業外費用	26,661
経常利益	7,524
VI 特別利益	1,819
VII 特別損失	4,040
税引前四半期純利益	5,303
税金費用	14,407
四半期純損失 (△)	△9,104